

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	こころとからだのしくみ	担当者名	松橋 ひとみ
授業の概要	「こころとからだ」領域において、人間の基本的欲求について脳を基準として学び、医学的知識を修得する。介護サービス提供に際し根拠となるよう、脳から生じる人間のこころについて考え理解を深める。				
科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳を中心としたからだのしくみを理解できる</li> <li>2. こころとからだの相互関連性について理解できる</li> <li>3. 脳の構造と機能について理解できる</li> <li>4. 関連する専門用語が理解できる</li> </ol>				
DPの観点	②専門知識・技能 ⑩論理的思考力				
授業時間外学修(予習・復習)	該当するテキストの箇所を予習する。予習・復習については、それぞれ1時間程度の学習をすること。				
フィードバックの方法	授業担当者より期末試験の結果を返却する。				
単位認定の要件	テーマごとに筆記試験を行い、期末試験は総合的な内容のものとする。定められた基準を満たすことが単位認定の要件である。視聴覚教材使用時は、授業時間内のレポート提出を求める。試験、レポート、授業態度など総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	期末筆記試験 60%、授業内試験(実施1週間前に周知) 10%、授業内提出物 10%、授業内活動 20%				
履修上の注意事項	適宜、演習を実施するが、演習に臨む態度も授業内活動として評価対象とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			身体のしくみを知ることの必要性について理解する	②	ミニッツペーパー
2			身体の構造と各部の名称について理解する	②	ミニッツペーパー
3			細胞・組織・器官・器官系細胞の構造を理解する	②	ミニッツペーパー
4			生命活動の調節(ホメオスタシス)①	②	ミニッツペーパー
5			生命活動の調節(自律神経)②	②	ミニッツペーパー
6			脳の神経の構造と末梢神経に至るまでの関連性	⑩	ミニッツペーパー
7			脳の機能と人間の生活(脳幹・大脳辺縁系)①	②	ミニッツペーパー
8			脳の機能と人間の生活(大脳新皮質)②	②	ミニッツペーパー
9			脳の機能と人間の生活(情報・感覚器)③	②	ミニッツペーパー
10			脳の機能と人間の生活(感情・記憶)④	⑩	ミニッツペーパー
11			脳の機能と人間の生活(思考・学習)⑤	⑩	ミニッツペーパー
12			脳の機能と人間の生活(言語・意思・創造)⑥	⑩	ミニッツペーパー
13			脳の機能と感情を理解する	⑩	ミニッツペーパー
14			人間のもつ可能性、こころの発達、推測について	⑩	ミニッツペーパー
15			1～14までの内容を振り返り、脳、神経の働きについてのまとめ	⑩	ミニッツペーパー
期末試験			期末試験		筆記試験実施

使用テキスト	最新介護福祉全書12「こころとからだのしくみ」(メヂカルフレンド社)小坂橋喜久代 新・介護福祉養成講座14「こころとからだのしくみ」(中央法規出版)荻村昭彦
参考文献 参考URL	よくわかる生理学の基本としくみ(秀和システム) 當瀬規嗣
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	-----------------------------------------------------------------

授業の自己評価	
---------	--